
第6報 平成29年6月19日

平成28年熊本地震 災害復旧資材供給情報

復旧・復興工事に関わる 建設資材等の需給動向



一般財団法人 経済調査会

平成28年熊本地震により被災されました方々に、心よりお見舞い申し上げますとともに、犠牲となられた方々のご遺族の皆様に対し、深くお悔やみ申し上げます。

熊本県内の復旧・復興工事に関わる主要建設資材等の価格及び供給情報について、平成29年6月19日までに収集した情報をもとに取りまとめましたので、お知らせいたします。

調査にご協力頂きました関係各位に感謝申し上げますとともに、当資材供給情報が被災地の復興に向けた一助となれば幸いです。

※災害復旧資材の供給情報提供窓口 <https://www.zai-keicho.or.jp/fukkyu/>

【問い合わせ先】

一般財団法人 経済調査会 土木第一部

TEL : 03-5777-8215 FAX : 03-5777-8230

【生コンクリート】

（熊本地区）

熊本県生コン工組調べによる熊本地区の5月の出荷量は、前年同月比108%増の5万9,182m³となった。昨年度からの繰り越し物件やバスターミナルの再開発工事等の大型物件もあり、需要は堅調だがアジテーター車が不足しており、需給はややひっ迫している。

熊本地区生コン協組では、アジテーター車のチャーター料金の値上がりによる運搬コストの増加、人材確保に伴う人件費の増加、骨材の値上げ要請等をふまえ、4月以降の契約物件よりm³当たり1,000円の値上げを表明し、需要者と交渉に臨んでいる。しかし、新規発注物件も少なく、既契約分が出荷の中心となっており、需要者側も値上げには難色を示していることから、市場に浸透するには時間を要する見通し。先行き、横ばいで推移。

（阿蘇地区）

熊本県生コン工組調べによる阿蘇地区の5月の出荷量は、前年同月比125%増の1万1,157m³となった。震災復興関連工事等で需要は堅調だがアジテーター車が不足していることから、需給はややひっ迫している。今後、国道57号線の復旧関連工事が本格化してくるため、さらなる需要増が見込まれている。

価格は、前月比2,000円上伸し、建築標準物21-18-20でm³当たり19,300円となった。阿蘇地区生コン協組では、震災復興関連需要による出荷量の増加に対応するため、他地区からのアジテーター車のチャーター増による運搬コストの増加、人材確保に伴う人件費の増加、骨材の値上げ要請等をふまえ、昨年11月からの新規契約分に関して2,000円の値上げを表明し、需要者側と交渉に臨んできた。ここにきて、需要者側も安定供給を優先し値上げを受け入れたため価格は上伸した。先行き横ばいで推移。

【コンクリート用砂荒目（洗い）】

（熊本地区）

震災以降、荷動きは道路復旧関連工事を中心に旺盛。ダンプが不足しており、需給はややひっ迫している。メーカー側はチャーター料金の値上がり等による運搬コストの増加分を販売価格へ転嫁すべく売り腰を強めている。先行き、強含み推移。

（阿蘇地区）

震災以降、荷動きは道路復旧関連工事を中心に旺盛なため、ダンプの確保が困難な状況がみられ、需給はややひっ迫している。メーカー側はチャーター料金の値上がり等による運搬コストの増加分を販売価格へ転嫁すべく売り腰を強めている。先行き、強含み推移。

【アスファルト混合物】

（熊本地区・阿蘇地区）

昨年度末に工事が集中し、各メーカーとも運搬車両が不足したことにより需給はひっ迫していた。新年度に入り、需要は一服状態であり、需給は均衡。今後、震災復興関連工事に伴い、需要の増加が見込まれている。

価格面では、ダンプのチャーター料金が値上がりしており、運搬コストは増加している。加えて、原材料であるスト・アス価格も昨年度より上昇基調に転じていることから、メーカー側は販売価格の引き上げを検討している。ただ、今のところ値上げに関しての動きはみられない。先行き、横ばい推移。

熊本地震 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品（地場資材）

【平成29年6月19日 現在】

資材名 [掲載頁]	地区名	熊本地震以降の直近変動 (月号・額) ※2016年4月号 以降の変動		単位	価格 (円)	前月比	現在の需給	先行き	
								需給	価格見通し
生コンクリート 建築標準物 (21-18-20) [128]	熊本	—	(変動なし)	m3	15,500	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
	阿蘇	2017年 7月号	2,000円上伸	m3	19,300	上伸	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
コンクリート用 砂 荒目(洗い) [189]	熊本	—	(変動なし)	m3	3,100	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	強含み
	阿蘇	—	(変動なし)	m3	3,900	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	強含み
コンクリート用 碎石 20~5mm [189]	熊本	—	(変動なし)	m3	3,200	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	強含み
	阿蘇	—	(変動なし)	m3	3,600	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	強含み
再生 クラッシュラン 40~0mm [189]	熊本	—	(変動なし)	m3	2,000	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	強含み
	阿蘇	2016年 12月号	200円上伸	m3	3,000	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	強含み
アスファルト 混合物 再生密粒度 (13) [320]	熊本	—	(変動なし)	t	11,200	変わらず	均衡	ややひっ迫	横ばい
	阿蘇	—	(変動なし)	t	12,200	変わらず	均衡	ややひっ迫	横ばい

【特記】 需給動向は供給者側に確認し、直近1~2か月前と比較した結果である。

熊本地震 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品（一般資材）

【平成29年6月19日 現在】

資材名 [掲載頁]	地区名	市場動向・概況	現在の需給	先行き	
				需給	価格見通し
鋼材 異形棒鋼 [20]	熊本	製品の供給面に問題はなく、需給は均衡している。 需要減から販売側の一部に売り急ぐ姿勢がみられ、価格は小幅に下落。需要回復にはまだ時間がかかるとみられ、先行き、弱含みで推移する見通し。	均衡	均衡	弱含み
型枠材 コンクリート型枠用合板 [213]	熊本	製品の供給面に問題はなく、需給は均衡している。 今後、熊本地区の大規模再開発工事向け等の需要が見込まれるものの、需要者側は今のところ、実稼働見合いの手当てに終始している。当面、横ばいで推移する見通し。	均衡	均衡	横ばい

【特記】 需給動向は供給者側に確認し、直近1～2か月前と比較した結果である。

熊本地震 復旧・復興工事における主な工種の概況 市場単価(季刊「土木施工単価」「建築施工単価」掲載工種)

【平成29年6月19日 現在】

資材名 [掲載頁]	地区名	市場動向・概況	現在の需給	先行き	
				需給	価格見通し
土木工事市場単価 鉄筋工(手間のみ) [土木施工単価3～9]	熊本	一般構造物でt当たり56,000円と春号比2,000円上伸。土木系の鉄筋工事は、被災した熊本市、上益城郡、阿蘇郡の災害復旧工事による道路、橋梁など一般構造物の新設・補修工事を中心に増加している。こうした中、鉄筋工の需給はややひっ迫しており、専門工事業者側の値上げ要請を元請業者側が受け入れた。阿蘇大橋の災害復旧工事等が本格化する年末から年明けまでは、現在の需給状態が継続するものとみられる。先行き、強含みで推移する見通し。	ややひっ迫	ややひっ迫	強含み
建築工事市場単価 鉄筋工事(手間のみ) [建築施工単価10～13]	熊本	現状の需要は、市内の商業施設や、既存建築物の耐震改修、県下の農業施設向け物件が中心。専門工の稼働率は漸増傾向にあり、需給は引き締めつつあるが、市況は、RCラーメン構造・階高3.5～4.0m程度・形状単純でt当たり47,000円どころを横ばいで推移。一方、大規模再開発工事の本格稼働を夏場以降に控え、今後の労務調達には困難になるとの見方が支配的であることから、先行き、強含みで推移する見通し。	ややひっ迫	ややひっ迫	強含み
建築工事市場単価 型枠工事(材工共) [建築施工単価20～23]	熊本	文教施設の耐震改修工事向けや、震災前に計画されていた商業施設等の物件が稼働し始め、春先は落ち着いていた専門工事業者の稼働率も徐々に上昇傾向にある。足元の市況は普通合板型枠・ラーメン構造・地上部階高3.5～4.0mで㎡当たり4,200円どころを横ばいで推移しているが、夏場以降大規模再開発工事の稼働を控え、需給のタイト化が確実視されており、先行き、強含みで推移する公算が大きい。	ややひっ迫	ややひっ迫	強含み

【特記】 需給動向は専門工事業者及び総合工事業者に確認し、直近3か月前と比較した結果である。